

雹害・強風対策特別情報

令和7年5月23日

J Aグリーン長野営農販売部

5月21日夕方に篠ノ井西部地区を中心に管内全域で降雹及び突風被害がありました。

被害に遭われました皆様には心からお見舞い申し上げます。

地域によって差がみられますが、特に被害が大きい地域も確認されています。

降雹があった地域は、当面は次項の内容にそって対応下さい。

裂傷がある場合は早急に殺菌剤を散布して傷口の保護を行って下さい。

定期散布した後に裂傷被害にあった場合も、特別散布を行って下さい。

まだ今回の定期散布を行っていない場合は定期散布を早急をお願いします。

『果実に裂傷がみられる場合は、早急に殺菌剤を散布する事が重要です。』

※打撲のみの場合は、殺菌剤の特別散布の必要はありません。次回の定期散布を早めに実施。

《全般》

強風による枝折れの場合は、キレイにせん除等し、トップジン M ペースト等保護剤等を塗布する。倒木の場合は伐根し、新植の準備をする。

《りんご》

りんごは、打撲痕中心に裂傷も確認されています。

◆薬剤防除について

・果実や葉に裂傷がある場合は下記薬剤を特別散布する。

1. 調 合 量……………水100ℓ 当り

〔 展 着 剤 ……10ml
オーソサイド水和剤…125g (収穫前日まで・年6回まで)

◆裂傷・打撲果対策について

・樹勢コントロールのため、打撲、裂傷等の被害を受けている果実でも、着果量が不足しないよう残しておく。極力、無傷>打撲>裂傷で残したい。

幼果の時期の被害は、えくぼ果やサビ果になる事が多い。

側果で、無傷なものがあれば残す。(ふじ以外では、玉肥大やサビ等の品質低下につながるが、残す)

・数日経過すると打撲等ははっきり分かるので被害状況がはっきりするまで摘果は控える。

・損傷の大きい果実を優先的に摘果し、被害程度に応じて着果量を加減する。

《もも・ネクタリン》

もも・ネクタリンは、打撲中心の被害が見られる。

◆薬剤防除について

果実・葉に裂傷がある場合はもも・ネクタリン情報N05の第6回定期散布を早急に行い、果実・葉の傷口を保護する。

◆裂傷・打撲果対策について

- ・摘果は、できるだけ軽微なものを残す。無傷＞打撲＞裂傷。ネクタリンで着果量が少ない場合は、樹勢コントロールのためむやみに摘果しない。適正着果量は確保して下さい。
- ・幼果の時期の被害は、えくぼ果やサビ果になる事が多い。
- ・成熟期になると腐敗になる場合があるが、樹勢コントロールのため、適正着果量は残す。

《ぶどう》

房や葉に裂傷、新梢の折れが確認されている。

◆薬剤防除について

房・葉に裂傷がある場合はぶどう情報N05の第5回定期散布を早急に行い、房・葉の傷口を保護する。

- ・第5回定期散布が終了後被害を受けた園は、下記薬剤を特別散布する。

1. 調 合 量…………… 水100ℓ 当り

〔 展 着 剤 …… 10ml
オースサイド水和剤 …… 125g (収穫30日前まで・年3回まで)

◆管理について

- ・極端に葉や樹体損傷がある場合は、程度に応じた着果量（粒数を基準とする）とし、樹体保護につとめる。
- ・被害樹では、特に新梢管理を徹底し、翌年のための新梢の充実を図る。
- ・新梢が折れている場合は癒合が悪いのでハサミで切り戻して下さい。

《プルーン・すもも》

打撲中心ですが裂傷も見られる。

◆薬剤防除について

果実・葉に裂傷がある場合は特産果樹情報情報N05の第6回定期散布を早急に行い、果実・葉の傷口を保護する。

◆裂傷・打撲果対策について

- ・摘果の時期ですが、無傷な果実＞打撲果＞裂傷の順に残す。
- ・成熟期になると腐敗になる場合があるが、樹勢コントロールのため、適正着果量は残す。

《あんず》

打撲中心ですが裂傷も見られる。

◆薬剤防除について

果実・葉に裂傷がある場合は下記薬剤を特別散布する。

1. 調 合 量…………… 水100ℓ 当り

〔 展 着 剤 …… 10ml
オンリーワンフロアブル …… 50ml (収穫前日まで・年3回まで)

◆裂傷・打撲果対策について

- ・成熟期になると腐敗になる場合があるが、樹勢コントロールのため、むやみに摘果しない。

《うめ》

打撲中心ですが裂傷も見られる。小梅は収穫期となっているため、正常果のみ通常出荷下さい。
裂傷無く打撲のみの果実はひょう害で荷受します。伝票のメモ欄へひょう害と記入して下さい。

◆薬剤防除について

- ・被害のある地域は、下記薬剤で防除して下さい。
- ※中・大梅のみ。小梅は収穫中のため散布しない。飛散させない。

1. 調 合 量 ----- 水100ℓ 当り

〔 展 着 剤・・・10ml
〔 オンリーワンフロアブル・・・50ml（収穫前日まで・年3回まで）

◆裂傷・打撲果対策について

- ・成熟期になると腐敗になる場合があるが、樹勢コントロールのため、むやみに摘果しない。

《なし》

打撲痕中心に裂傷も確認されています。

◆薬剤防除について

果実・葉に裂傷がある場合は特産果樹情報情報N05の第5回定期散布を早急に行い、果実・葉の傷口を保護する。

◆薬剤防除について

1. 調 合 量 ----- 水100ℓ 当り

〔 展 着 剤・・・10ml
〔 オンリーワンフロアブル・・・50ml（収穫前日まで・年3回まで）

◆裂傷・打撲果対策について

- ・樹勢コントロールのため、打撲、裂傷等の被害を受けている果実でも、着果量が不足しないよう残しておく。極力、無傷>打撲>裂傷で残したい。
- 幼果の時期の被害は、えくぼ果やサビ果になる事が多い。
- ・数日経過すると打撲等ははっきり分かるので被害状況がはっきりするまで摘果は控える。
- ・損傷の大きい果実を優先的に摘果し、被害程度に応じて着果量を加減する。

《オウトウ》

打撲中心ですが裂傷も見られる。

◆薬剤防除について

果実・葉に裂傷がある場合は下記薬剤を特別散布する。

1. 調 合 量 ----- 水100ℓ 当り

〔 展 着 剤・・・10ml
〔 オンリーワンフロアブル・・・50ml（収穫前日まで・年3回まで）

《共通》

◆裂傷・打撲果対策について

- ・腐敗が確認された時点で、摘果し土中に埋める。

◆果樹共済加入者の皆様へ

加入されている場合は、果樹共済へ、早急に連絡下さい。

◆記載の防除農薬購入について

J Aファーム・営農資材センターにて購入の際は「雹害対策防除農薬」であることを申し出て下さい。

- ・対象農薬：

オンリーワンフロアブル・オーソサイド水和剤・トップジンM ペースト・トレノックスフロアブル

- ・期 間： 5月31日までを予定

◆災害果の販売対策について

災害果でも、通常出荷やオープン箱出荷等で、販売可能なものも多い。

荷受対策を検討し、今後お知らせ致します。

◆ひょう害対策講習会について

開催日	曜	時間	場所
5月26日	月	午前11時	西部流通センター

J Aグリーン長野営農販売部

TEL : 292-0930 FAX : 292-2240